

XVI 主な植物成長調整剤

1 野菜類の植物成長調整剤

(1) トマト、ミニトマト、なす：[トマトトーン](#)

使用目的	作物名	希釈倍数・使用量	使用方法	使用時期	使用回数		
着果促進、 果実の肥大 促進、 熟期の促進	トマト	低温時(20℃以下) 50倍	散布	開花前3日～開花後 3日位(1花房で3～5 花位開花した時期)	1花房につき 1回		
		高温時(20℃以上) 100倍					
	ミニトマト	低温時(20℃以下) 50倍				開花前3日～開花後 3日位	1花につき 1回
		高温時(20℃以上) 100倍					
	なす	50倍				開花当日	1花房につき 1回

<トマトトーンを使用する場合の注意>

- ・必ず所定の希釈倍数にしたがって、水に溶かして使用する。
- ・同じ花房（花）に重複散布したり、所定濃度以上の濃い液の散布は薬害が生じるおそれがあるのでさける。
- ・頂芽や幼葉にかかると、その部分が萎縮したようになるので、なるべく花房（花）にのみかかるように噴霧する。
- ・使い残りの希釈液は4週間程度まで保存できるが、なるべく早く使用する。
- ・散布後2～3日すると果梗が太くなり、幼果のつやが増し、非常に発育が早くなる。
- ・本剤は植物ホルモン剤のため、使用時期、使用量、使用方法など誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにする。
- ・適用作物以外の作物に薬液がかからないように注意する。
- ・他の農薬と混用しない。
- ・散布に使用する容器、噴霧器等の用具は使用の前後によく水洗する。